

県 広 報

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/ 21世紀の
高速新時代に向けて



8

1996 No.331

INTERVIEW

ひとアズとやま



逆境から勝ち取った プロのマウンド

ヤクルトスワローズ 田畑一也選手

今年、ダイエーホークスからヤクルトスワローズに移籍し、主軸ピッチャーとして活躍している田畑一也選手。「中学時代は内野手だったんです。高校（高岡第一高校）に入ってから、内野手やキャッチャーをこなした後にピッチャーに転向したんですよ」。県内屈指の好投手として注目を集めたものの、残念ながら甲子園には出場できずに高校生活を終えた田畑選手。「最大の目標だっただけに心残りでしたね」。

卒業後は北陸銀行に入社し、野球部に所属しますが、不運にも肩をこわして野球を断念。その後二年間は、大工を営む実家で仕事を手伝う毎日を送っていました。そんなある日のこと、たまたま新聞でダイエーの入団テストの記事を目にします。「肩が完治しているか不安でしたが、とにかく挑戦してみようと思いました」。結果は見事合格。翌年のドラフトでダイエーに指名され、あこがれのプロのユニホームに袖を通します。

田畑選手が今まで一番印象に残っている試合は、ロッテ戦（福岡ドーム）での初勝利。「一度野球をあきらめた自分が、プロで、それも一軍のマウンドで勝てるとは……。その時の感激はとて言葉にはできませんね」。そして今年、ヤクルトに移籍してからの活躍は周知のとおり。六月には中日戦でプロ入り初完封。見事オールスター戦にも出場を果たしました。「今シーズンこれまでの成績には一応満足しています。でも、最近はずいぶん出てきて、もつともつと勝ちたいと思うようになりましたね」。

あまり特徴のないピッチャーと自己分析する田畑選手ですが、そのズバ抜けた制球力は誰もが認めるところ。「野球を始めてから優勝にはあまり縁がないんです。自分が活躍した結果、チームが優勝できれば言うことなしですね」。野球の魅力については、「発逆転があること、とひと言。ピッチャーにとっては恐ろしいスポーツです。でも、その分やり甲斐があるということですよ」と言いながら、笑顔のなかに一瞬見せたその目は、しっかりと優勝の二文字を見据えているかのようでした。



▲ 不思議な木漏れ日空間(スライドショー)



▲ メルヘンの世界(マリオネットミュージカルシアター)

▼ 常春の空間(アトリウムガーデン)



夢あふれるおとぎの国へようこそ —高岡おとぎの森公園—

レポーター: フラワーメイト 中山千尋さん(表紙右)
吉谷智恵さん(表紙左)

今回は、私たちフラワーメイトが、彩りつやま緑化祭96のメイン会場の一つ、高岡おとぎの森公園をご案内します。

二階建てのロンドンバスを降りて森のゲートをくぐるとそこはもうおとぎの国。へようこそ花壇の妖精たちがお出迎えしてくれます。

〈メルヘン橋〉を渡ったところにあるガゼボ(洋風の休憩舎)から一望のもとに見渡せるのがメルヘンガーデン。ここは西洋風の花壇を集めた庭園で、中央にあるバラの広場では真夏に咲くバラの花を楽しめます。

さて、いよいよUFOみたいな形のメインパビリオンへおとぎの森館へ到着。一階(アトリウムガーデン)は花いっぱい常春の空間。深呼吸すると花の香りが胸いっぱいひろがります。深い森の中にいるような気分が味わえる二階(スライドショー)では、木漏れ日に白い紙をあててみましょう。とんぼや蝶が紙の上を自由に動き回ります。また愉快な操り人形と一緒に森の不思議を体験できる〈マリオネットミュージカルシアター〉も必見です。

おとぎの森公園には、このほかにも花の似合うモデル住宅〈花のガーデンハウス〉、大人から子どもまで最先端技術の世界で遊べる〈遊びのプラザ〉、スリルいっぱい乗り物が勢ぞろいした〈ファミリーパーク〉など見どころがいっぱい。また、おとぎの森ステージでは連日楽しいショーが開催されています。

この夏は、彩りつやま緑化祭で楽しい一日を。皆さんのお越しをお待ちしています。

※とやま緑化祭は9月1日(日)まで開催中



▲ 妖精たちがお出迎え(ようこそ花壇)



スリルいっぱいのアミューズパーク ▶

8 CONTENTS

8月号もくじ

とやま遊学感 / 高岡おとぎの森公園	表紙
とやま遊学感 / 田畑一也選手	表紙
とやま遊学感 / ひとアズとやま / ヤクルトスワローズ	表2
とやま遊学感 / トビックス / 秋篠宮同妃両殿下ご来県	表2
とやま遊学感 / 特集 / 二十一世紀の高速新時代に向けて	表2
PINUP TOYAMA / 写真 / 滝川邦彦(日本写真家協会会員) / 詩 / 山本哲也(富山現代詩人会会員)	表2
ふるさとみである記(小矢部市)	表2
① 日本宇宙少年団小矢部分団	8
② メルヘンJリーグ	4
③ 雅楽「治賢会」	2
エッセイ / 前佛 勇	12
(富山県写真家協会会長)	
シリーズ / 国民文化祭とやま'96 V	13
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記 / 七夕流し(黒部市尾山)	表3

ようこそ富山へ 秋篠宮同妃両殿下ご来県



県を代表する歴史的建造物、瑞龍寺をご視察



お年寄りたちに気さくに声をかけられました。
(特別養護老人ホーム「こぶし園」)



全国都市緑化祭式典でお言葉を述べられる秋篠宮殿下 (高岡市民会館)



笑顔で子どもたちと触れ合われる紀子様 (高岡おとぎの森公園会場)



ツガの木を記念植樹される秋篠宮殿下 (高岡おとぎの森公園会場)



各ご訪問先では、県民の熱烈な歓迎を受けられました。



終始なごやかに園内をご覧になりました。(高岡おとぎの森公園会場)



にこやかに会場を視察される両殿下 (高岡古城公園会場)



熱心に説明をお聞きになる両殿下
(中央植物園)

秋篠宮同妃両殿下は、「平成八年度全国都市緑化祭」式典にご臨席のため、七月十一日、十二日の二日間の日程でご来県されました。十一日、富山空港へご到着になった両殿下は、午後から婦中町の中央植物園を訪問され、熱帯植物室やラン温室などを見学されました。特別養護老人ホーム「こぶし園」では、手芸や生け花、書道のクラブ活動を行うお年寄りたちに、笑顔で話しかけられました。翌十二日は、改修を終えたばかりの瑞龍寺をご視察になった後、高岡市民会館で行われた全国都市緑化祭の式典にご臨席。席上、秋篠宮殿下は「この緑化祭を機に、都市緑化推進運動が全国に広がることを願います」とお言葉を述べられました。続いて、緑化フェアのメイン会場、高岡古城公園会場と高岡おとぎの森公園会場を順にご視察。おとぎの森公園会場では、秋篠宮家のお印でもあるツガの木を記念植樹されました。ご滞在中、それぞれのご視察先で、県民の熱烈な歓迎に終始笑顔でお応えになった秋篠宮同妃両殿下は、すがすがしい印象を残し、空路富山を後にされました。



二十一世紀の 高速新時代に向けて

私たちの日常生活に最も関わりの深い施設である道路。私たちの行動範囲を広げてくれるばかりでなく、各経済圏との広域的な連携を深めるなど、その役割には極めて大きなものがあります。

富山県内でも、21世紀の新しい高速交通体系の一翼を担う道路が、着々と整いつつあります。

ここでは、バランスのとれた地域の発展と快適な暮らしの実現のため現在整備が進められている高規格幹線道路に焦点を当て、それらの概要を紹介するとともに、来るべき高速新時代を展望します。



▲小矢部砺波ジャンクション

(注)本文中 IC=インターチェンジ
JCT=ジャンクション

高規格幹線道路とは

自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路を高規格幹線道路といいます。

昭和六十二年に閣議決定された「第四次全国総合開発計画（四全総）」には、二十一世紀に向けて多極分散型国土をつくるため、交通、情報、通信体系の整備・拡大を目指した「交流ネットワーク構想」が盛り込まれました。そして、この構想の一環として、全国一萬四千里メートルの高規格幹線道路網の計画が策定されました。

高規格幹線道路には、日本道路公団が建設する「国土開発幹線自動車道」（北陸自動車道、東海北陸自動車道など）と、一般国道の自動車専用道路（能越自動車道中部縦貫自動車道など）があります。

日本海側と太平洋側を結ぶ日本中央横断軸 ～東海北陸自動車道～



五箇山橋 ▶

①概要

東海北陸自動車道は、小矢部砺波JCTと愛知県の一宮JCTとを結ぶ延長約百八十五キロメートルの国土開発幹線自動車道で、県内延長は約三十三キロメートルになります。日本海側と太平洋側とを結ぶ地域連携軸として日本中央横断軸を形成するばかりでなく、環日本海交流圏と環太平洋交流圏とを結ぶ「国際軸」として機能する極めて重要な道路です。また、北陸地方と東海地方を直結することで、中部圏の産業、文化の一体的な発展と、地域住民の生活向上を図るうえで、欠くことのできない路線といえるでしょう。

③今後の展望

県内では現在、福光～上平間および上平～県境間で着々と整備が進められています。福光～上平間約十六キロメートルでは、袴腰トンネル（長さ約六キロメートル）と城端トンネル（長さ約三キロメートル）が掘削中ですが、その避難坑工事には直径四・五メートルのトンネルボーリングマシン（愛称「岩太郎」）を導入。従来の掘削方式に比べ高速掘削が可能なのこのマシンの活躍により、早期の完成が見込まれています。上平～県境間約五キロメートルについては、先頃、中心杭の打設が完了。これで、東海北陸自動車道の全路線が確定し、その早期開通への期待がますます高まっています。



▲福光～上平間
工事現場



▲トンネルボーリングマシン「岩太郎」

日本海国土軸形成の動脈 ～北陸自動車道～

①概要

北陸自動車道は、新潟市と滋賀県米原町とを結ぶ延長約四百八十八キロメートルの国土開発幹線自動車道で、そのうち県内延長は約百キロメートルです。日本海国土軸の形成には不可欠な道路であるとともに、米原JCTで名神高速道路と結ばれていることで、近畿圏、中部圏との広域的な連携を深めるなど、北陸地方の発展に重要な役割を果たしています。

②現状

現在、新潟亀田ICから米原JCTまでの約四百八十一キロメートルが開通しています。昭和六十三年に朝日ICから新潟県の名立谷浜ICまでの区間が開通したことで、関越自動車道と連結し、首都圏がますます近くなりました。

②現状

平成四年三月に、小矢部砺波JCTと福光IC間約十一キロメートルが、暫定二車線で開通しました。すでに開通している岐阜県の郡上八幡IC～岐阜各務原IC間とあわせ、約五十八キロメートルが開通しています。



▲泊トンネル建設現場

朝日IC～上越IC間の約七十四キロ

③展望

朝日IC～上越IC間の約七十四キロ

福岡IC（小矢部砺波JCT）開通記念式典（3/28）



祝 能越自動車道（福岡IC～小矢部砺波JCT）

建設省北陸地方建設局

近づく大都市圏
東海北陸自動車道や能越自動車道といった高規格幹線道路が連結することにより、東京、大阪、名古屋などの大都市圏との時間距離が大幅に短縮され、ショッピングやレジャーなどを楽しむ人々の交流が活発化します。

高規格幹線道路の開通によって

広域観光ネットワークの確立

富山県や石川県、岐阜県にまたがる多くの観光資源が有機的に結ばれることで、観光の周遊性が高まり、通年型、滞在型の観光の振興、さらには、広域観光ネットワークの確立にもつながります。

地域産業の振興

地域産業を活性化するためには、県内外とのアクセスの向上が不可欠です。高規格幹線道路がいわば地域連携軸となり、地域の産業流通機能を大幅に改善させることで企業立地が進み、地域経済の大きな発展が見込まれます。また、輸送の合理化は、仕入れや販売ルートを広げ、商業活動の活性化にもつながります。もちろん四季を通じた観光客の増加も予想され、観光産業の飛躍的な発展が期待できます。

環日本海時代に向けての役割

富山県は、来るべき環日本海時代の中核拠点を目指しています。こうしたなか高規格幹線道路は、「環日本海交流圏」と「環太平洋交流圏」を結ぶ動脈として機能するばかりでなく、韓国・ロシアといった対岸諸国との交流をいっそう推進する原動力となることでしょう。



▲メルベン建築（小矢部市）



▲むぎや祭（城端町）

県政の動き

平成8年6月11日～平成8年7月10日

- 6月11日 たくましく魅力あるとやまの農業推進大会 '96とやま就職ガイダンス in 大阪
- 6月17日 富山県議会本会議
- 6月23日 626 ヤング街頭キャンペーン
- 6月27日 有峰青少年の家開所式典
- 7月1日 中国遼寧省水産考察団来県
- 7月5日 富山一函館便初便出発式
- 7月9日 「とやま名誉大使」称号授与式



メートルについては、現在、暫定二車線による対面通行になっており、高速道路としての機能の充実や安全面からも四車線化が強く望まれていました。こうしたなか、平成五年にこの区間の四車線化が認められ、現在着々と工事が進められています。

県西部と三大都市圏を結ぶ新時代の道 能越自動車道

①概要

北陸自動車道の小矢部砺波JCTと石川県輪島市とを結ぶ延長約百キロメートルの一般国道の自動車専用道路で、県内延長は約四十五キロメートルです。地方中心城市である高岡市や輪島市、七尾市および特定重要港湾である伏木富山港など、重要拠点から国土開発幹線自動車道へのアクセスを向上させるとともに、県西部と三大都市圏との交流を促し、地域経済や文化の発展に寄与する重要な路線です。

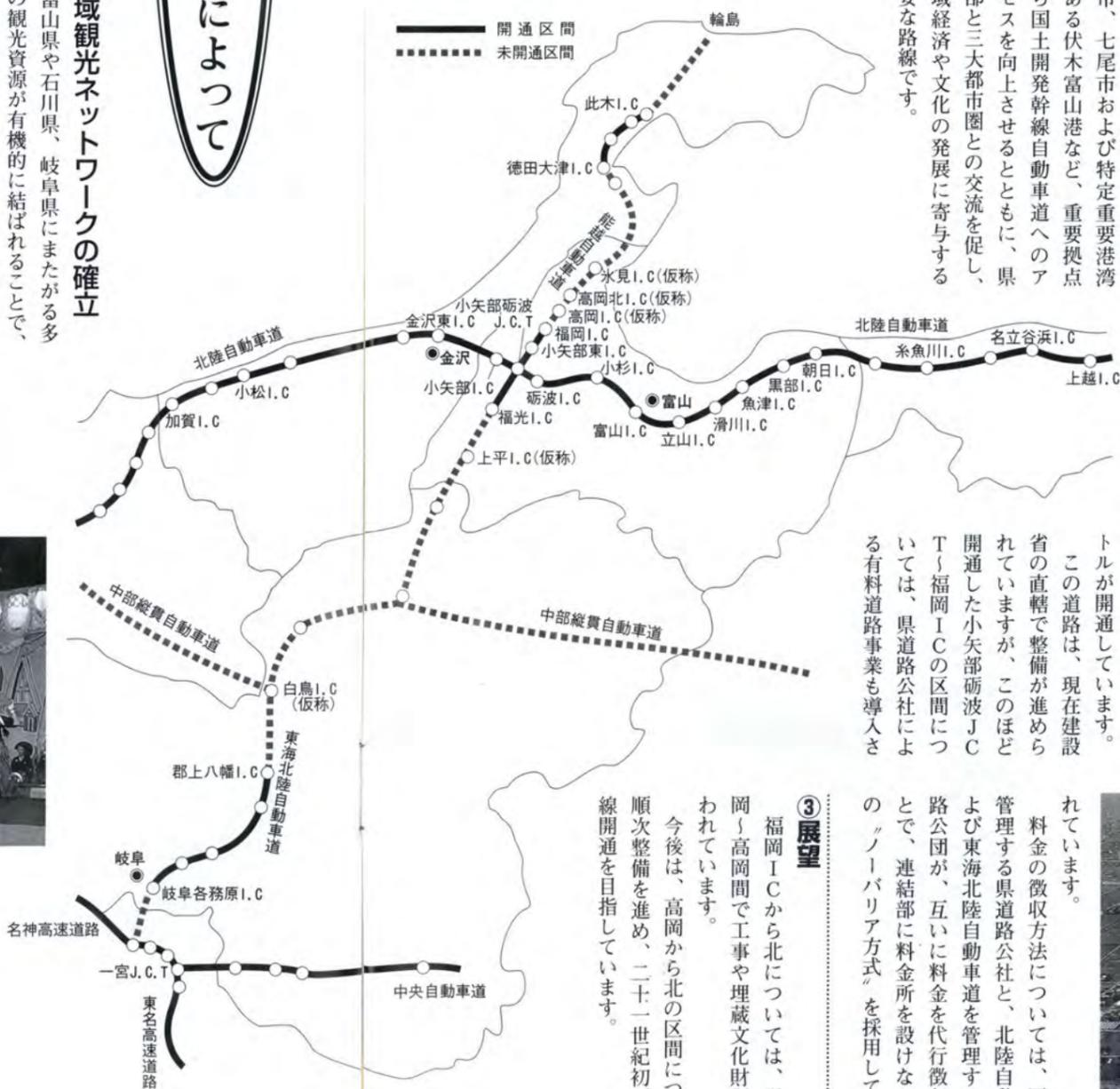
②現状

県内では今年三月、小矢部砺波JCTから福岡ICまでの六・九キロメートルが部分開通しました。すでに開通している石川県の此木IC（徳田大津ICとあわせ、約三十四キロメートルが開通しています）がこの道路は、現在建設省の直轄で整備が進められています。このほど開通した小矢部砺波JCT（福岡ICの区間については、県道路公社による有料道路事業も導入されています）

料金の徴収方法については、同区間を管理する県道路公社と、北陸自動車道および東海北陸自動車道を管理する日本道路公団が、互いに料金を代行徴収することで、連結部に料金所を設けない全国初の「ノーバリア方式」を採用しています。

③展望

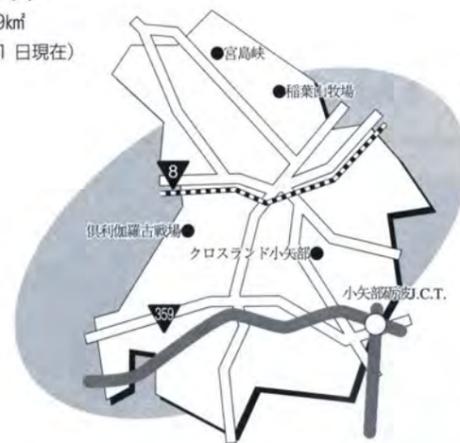
福岡ICから北については、現在、福岡（高岡間）で工事や埋蔵文化財調査が行われています。今後は、高岡から北の区間についても、順次整備を進め、二十一世紀初頭には全線開通を目指しています。



▲今年3月に完成した福岡インターチェンジ

こんな光景に出会えるのは
夏だけかも知れない
塩っぱい汗を搔いた
瓦が干上がるころに
マシユマロのよな日が
沈んでゆく
メリーゴーランドは
眠りについたよ
そして 今ごろ
観覧車にいた彼と彼女は
遠近法で透視した風景を
古代言語で それも暗号のように
語り始めただろう

人口 / 35,739人
面積 / 134.09km²
(平成8年6月1日現在)



身近な素材から“宇宙観”を育む

日本宇宙少年団小矢部分団



▶ ヨット模型を使った実験

「未来を担う子供たちに宇宙的視野で物を見てもらうことを主眼に活動しています」と、団長の岩堀恭一さん。分団では、天体観測のほかいろいろな実験を通じて「科学する心」を育んでいる。「ペンシルロケット（組立キット）の打ち上げ実験は、ただ飛ばすのではなく、風向きや角度、落下地点の計算など、本物のロケットの打ち上げに準じた形で行いました。また、ヨットが進む原理を模型を使って説明したところ、子供たちは大いに興味を示してくれましたね」。現在、レオナルド・ダ・ビンチの描いた五百年前のデッサンをもとに、

木製自転車モデルを復元するプロジェクトが進行中である。

「三十年後、宇宙はもっと身近になっていくはず。宇宙少年団の活動を通じて、そんな時代に通用するような感性を養ってほしいですね」と岩堀さん。将来、分団から地球の未来を担う宇宙飛行士が誕生することを期待したい。

ふるさと みである記

小矢部市

◎小矢部市の概要

石川県との県境に、源平合戦で有名な倶利伽羅峠があり、古戦場を中心として県定公園に指定されている。秘仏の不動名王に厚い信仰がよせられる古刹・倶利伽羅不動寺、木曾義仲が戦勝を祈願したといわれる古社・護国八幡宮など数々の旧跡がある。また、公共施設等は、日本はもとより世界の有名な建物のデザインを取り入れ、まさに「メルヘンの街」として脚光を浴びている。



▲岩堀恭一さん



▲日本宇宙少年団小矢部分団のメンバー

古より受け継がれる神秘の響き

雅楽「治聲会」



▲治聲会のみなさん

と化していく雅楽。息づかいの強弱や手の微妙な動き一つ一つが、独特の音世界をつくり上げていくという。

そんな日本固有の音楽を治聲会では、昨年二月にイタリアのベッキオ宮殿で催された演奏会で披露。聴衆からは大きな喝采をあげたそう。『ミケランジェロ彫刻に囲まれた宮殿では、雅楽のもつ神秘の響きが一層際立ったように感じられました』と山崎さん。



▲山崎仁正さん

毎年宮内庁の雅楽奏者から演奏の指導を受けているという治聲会。楽器に対する愛着心を育みながら、幻想的な響きを次代に受け継いでいくことだろう。



▲ベッキオ宮殿での演奏

Jリーグ人気に 追いつき追い越せ

Jメルヘンリーグ



最近ミニサッカーが人気を集めているが、小矢部市では昨年三月、六人制サッカーリーグへJメルヘンリーグが誕生した。



▲新井康博さん

「チーム数は、発足時の九チームから十三チームに増えました」とチエアマンの新井康博さん。『ヴェルディー・ジャポン』や『アントラーズ・ラボンバー』などのチームが名を連ね、ユニホームもJリーグと瓜二つだ。四月から十月まで月二試合のペースで総当たり戦を行い、優勝チームはもちらん得点王やMVPも表彰する予定です。まさにミニチュア版Jリーグである。

六人制サッカーのコートは通常の約半分、時間も前後半十分ずつと短い。ただ、ゲームの面白さは十一人制にひけをとらないという。「最初はユニホームのかわさきでJリーグ気分を味わっていたんですが、今はみんなサッカーを純粹に楽しんでいるようです」と新井さんは目を細める。



▲昨年の優勝チーム「セレッソ・ガガモ」

「雅楽の魅力は絶妙な響きの中にある奥ゆかしさでしょうね」と市内の雅楽愛好者グループ「治聲会」主幹の山崎仁正さん。

雅楽とは、五世紀頃、中国大陸から伝わった音楽が当時の日本の音楽と結びついて生まれたもの。竜笛、笙、篳篥などの笛類を主要楽器とし、弦楽器と太鼓を含め八種類の楽器で奏でられる。「天保年間（江戸時代後期）に、地元の僧が京で学んだ雅楽を郷里に持ち帰り同志を募ったのが会の始まりです。治聲会という名称は明治初期に宮内庁からいただいたものなんですよ。」

竜笛の旋律に併せ徐々に他の楽器群が加わり重厚な響き

出かけよう！文化の祭典へ

第11回国民文化祭とやま'96 この秋いよいよ開幕



▶富山市芸術文化ホール（オーバードホール）

総合フェスティバルの概要（入場整理券必要）

事業名・会場	開催日時	入場整理券 応募締切り	内容	応募先
開会式オープニング フェスティバル 「くらしと文化が織り なすー富山マンダ ラ大絵巻ー」 富山市芸術文化ホール (オーバードホール)	9/28(土) 17:00 ▼ 19:30	8/5	富山の自然や暮らし、全国各 地の民俗芸能などを、富山のく すりやさんの目を通して情感豊 かに描きます。また、海外及び 全国から総勢800人の出演者が 華麗なステージを繰り広げます。 総合司会：渡辺徹 黒田あゆみ ゲスト：早勢美里 梅津栄ほか	〒930 富山市舟橋北町 4-19 国民文化祭富山県 実行委員会「開会 式」係 ☎0764-44-2184
閉会式グランドフィ ナーレ 「新たな文化創造の 予感」 富山市芸術文化ホール (オーバードホール)	10/7(月) 18:00 ▼ 20:30	8/15	異なる芸術文化・世代のジョ イントステージや創作舞踊劇「獅 子の来た道」などを多数の県内 及び香川県の文化団体で演じ、 富山で広がった文化の輪を次期 開催県の香川県へ引き継ぎます。 総合司会：松田輝雄 宮崎淑子	同上 「閉会式」係 ☎0764-44-2186

◎入場整理券の応募方法 往復ハガキに①希望事業名、②開催日、③会場、④住所、⑤氏名、⑥性別、⑦年齢、⑧電話番号を記入のうえ応募（①～③は朱書き）

※総合フェスティバルのほかにもシンポジウム、オーケストラ、オペラ、ヤングミュージック、舞踊、民謡、演劇、民俗芸能、邦楽、ファッションなどの事業については、入場整理券が必要です。応募方法は共通ですが、締切日・応募先が事業によって異なりますのでご注意ください。

問合せ 第11回国民文化祭富山県実行委員会事務局 ☎0764-44-2183～6



「このちとくらしとやまマンダラ大絵巻」をテーマにいよいよ開幕する国民文化祭とやま'96。9月28日から10日間、にわたり県内一円に様々な分野の事業が展開されます。この秋、皆さんも文化の祭典へ出かけましょう。



いまどきの写真事情



富山県写真家協会会長

前佛 勇

いま、再びモノクロ写真が流行りだしてきている。メーカーもそれにあわせ新感材などを開発・発表しているようである。

私が写真を始めた頃は、モノクローム全盛の時代。当時のカラー写真は、ただ色が付いている程度のものであったと記憶している。だから、その頃はカラーには全くといっていいほど関心がなく、ただ白と黒とで構成される画の素晴らしさに惹かれていた。今でもその基本は変わっていない。

そもそも写真することに興味を持ったのは、撮影することの楽しさもあることながら、その後の暗室処理が面白かったからかもしれない。現像してできあがった白黒反転されたフィルム画像の妙な絵、現像液の中で印画紙の上に絵が徐々に出てくる様子など、それぞれに楽しさがあったわけで、今思い出しても懐かしい。現在は、仕事からポジカラーフィルムの撮りっぱなしであり、写真することの面白さも半減してしまっているようである。しかし、ここに来てモノクロ写真の復活である。カラー写真が普通となっている今の人達の目には、かえって新鮮に映るのである。

また、最近では都会の若い女性の間で、自分の身の回りにあった出来事を写真に撮り、アルバム風の日記をつくるのが流行っているという。これは今日の今を記録するという写真本来の姿に立ち返ったものともいえる。ところで、写真で日記を綴ることは、一九六〇年代に既に「写真日記」というものがあり、特に珍しいというわけではない。ただ、今の時代に、

それも若い女性たちに流行るといってはなかなか面白い現象である。

私が見たところでは、カメラや三脚を手にしているのは、お年を召した方が多く、若い人はあまり見かけない。しかしその一方で、先のモノクロ写真の復活や写真日記の流行などを耳にすると、静かなながらも写真ブームが訪れつつあるような気がする。富山にも若い写真家がどんどん登場し、新風を巻き起こして欲しいものだ。

すでに写真の世界はデジタルに移行しつつあり、デジタル写真家といわれる人々も誕生している。若い世代には、いきなりデジタルから写真を始めるとも出てくると思われる。来るべき二十一世紀には、写真界が果してどんな時代を迎えているのか、興味が尽きない。



ESSAY



第11回 国民文化祭とやま'96

平成8年9月28日(土)→10月7日(月)

いのちとくらし — とやまマンダラ大絵巻



募集

「21世紀のこやま」科学技術とこよま
創造と発展への提案 論文募集

〔財〕富山技術開発財団では、21世紀を迎える富山が科学技術の発展とともにどのように繁栄を遂げ、自分がそれに対して何かできるかといったアイデアや夢を募集します。応募資格 次のいずれかに該当する個人又はグループ
●県内の大学・大学院、短大、高専及び高校3年に在学中の方
●富山県内在住の、企業に勤務する方等で27才以下の方。県内の高校を卒業し、県外の大学に在学中の方や企業に勤務する方等で27才以下の方。(年齢については平成9年3月末を基準とする。)

応募枚数 400字詰原稿用紙15枚程度
賞金 最優秀賞1編/50万円、優秀賞2編/20万円、入賞数編/10万円
締切 10月31日(木)(当日消印有効)
応募・問合せ (財)富山技術開発財団
〒930 富山県高田529
☎0764-3316402

県民カレッジ
21世紀「伝えるふるさとこやま」コンテスト作品募集

映像を通してふるさとこやまの良さや美しさを再発見。どなたでも気軽に応募できます。ふるさとの自然、ふるさとの町並み、ふるさとの祭り、ふるさとの心の4部門があります。優秀作品は、ふるさと映像として保存し、広く県民に公開します。
募集期間 8月31日(土)まで
作品時間 3分以内
問合せ先 富山県生涯学習カレッジ映像センター
☎0764-3216420

お知らせ

富山県埋蔵文化財センター企画展
「原始・古代の技と知恵」開催中

原始・古代の人々は、優れた技を駆使して、石、土、木等を材料に様々な道具を作り出しました。また、新しい技術を開発し、導入して、生活を変えてきました。今回の展示では、日常生活や生産活動に使われた道具とその制作技法に焦点を当て、原始・古代人の知恵や工夫の一端を探ります。
会期 10月9日(水)まで
開館 午前9時～午後5時
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日
入館料 無料
問合せ 埋蔵文化財センター
富山県茶屋町206-3
☎0764-3412814

中央植物園の催事案内
和紙を作ってみよう

富山の特産品の一つである平村の和紙を、自分の手で作ります。和紙づくりを通じて、植物と私たちの生活とのかかわりを考えましょう。
日時 8月23日(金)～25日(日) 午前11時～午後3時
場所 富山県中央植物園サンライトホール
講師 富山県平村和紙工芸研究館職員
参加費 600円(入園料)
申込み 当日会場受付。事前申し込みは不要
◎草木染講習会開催
オオマツヨイグサやアカネなど、身近な植物や伝統的な染料植物を使って、絹布や毛糸を染めてみましょう。
日時 9月8日(日)午前10時～午後4時
場所 富山県中央植物園実習室
講師 足立紀美子氏(染織作家、女子美術大学講師)

啓発

「水の週間」

8月1日から7日まで、「水の週間」です。富山県は、「水の王国」といわれるように、水に大変恵まれており、水は私たちの毎日の暮らしや農業、工業などの産業活動を支える重要な資源となっています。しかしこの大切な水も決して無尽蔵ではありません。毎日何気なく使っている「水」について今一度その大切さを考え、貴重な資源として未来に引き継いでいきたいと思います。
問合せ 県庁水雪土地対策課
☎0764-4413126

青少年保護育成条例が改正されました

テレホンクラブやパソコン等を利用した青少年によくない情報媒体など、青少年の健全育成を阻害するような行為を規制するため、富山県青少年保護育成条例の一部が改正され、7月1日から施行されました。
条例改正の主なポイント
(1) 有害図書等及び有害がんに具類の規制の強化
(2) テレホンクラブ等営業の規制

第6回富山国際現代美術展 TOYAMANOW'96

県立近代美術館が開館以来3年毎に開催してきた「富山国際現代美術展」は6回目を迎えました。今回の参加国は、国際的にも関心の高いイギリスと、開催国日本。イギリス・セクションは「ポティ・オブ・エヴィデンス」と題し、時間と空間の中に鑑賞者を引き込む映像を表現に用いた7作家。一方日本セクションは「極小化された表現」というテーマで、起源にたかえる表現を追求する7作家で構成。イギリスと日本の現代美術をぜひご覧ください。
会期 平成8年7月17日(水)～9月20日(金)
開館時間 午前9時30分～午後5時
休館日 月曜日(9月16日はのぞく)
観覧料 一般950(750)円
高・大生700(500)円
小・中学生400(300)円
()内は20人以上の団体
問合せ 県立近代美術館
☎0764-217111

第2回呉羽ケニアの集い

呉羽少年自然の家の周りの竹を使って、花器や食器を作ります。竹の特性を生かした作品を作ってみませんか。親子での参加をお待ちしております。
日時 平成8年9月14日(土)午前9時
場所 富山県呉羽少年自然の家
募集 8月14日(水)から
募集定員 50名

(3) 青少年に対する性的違反行為の罰則の強化
明日の富山県を担う青少年が心身ともに健やかに成長できるように、県民の皆さまのご協力を願います。
問合せ 県庁女性少年課 ☎0764-4413138

第13回全国都市緑化とやまフェア
彩りとやま緑化祭'96
高岡古城公園・高岡おとぎの森公園
会場開催中!
7/12～9/1 9:30～17:30
(ただし、8/1～7、8/14～18は19:00まで)

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民相談室)
FAX 44-3300(県民相談室)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活について
消費生活センター
富山県消費生活センター
富山県安住町7-18 安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法・覚えい劑など、どんな相談にも応じます。☎(0764)42-01110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山県舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM7:00~7:15
「ふるさとトーク」
■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろばクイズ/フォーカス・イン」
■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」
8/4 笑う門には福来る
8/11 百花繚乱/緑化祭開催中
8/18 我がまちふるさと自慢 ~上平村~
8/25 今つくろう あなたの文化
- ラジオ放送
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50~9:55
- 新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成8年 9月 街頭献血日程

日	曜日	献血場所	時間
8	日	魚津サンプラザ前	10:00～16:00
15	日	富山西武前	10:00～16:00
19	木	入善町商工会館前	9:30～16:00
20	金	城端町役場前	12:30～16:00
22	日	高岡サティ前	10:00～16:00
27	金	小矢部市役場前	9:30～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
●マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30
●マリエ献血ルーム(☎0764-45-4500)
血液センター(☎0764-51-5555)

とやまの祭事記

八月



七夕の灯が人々の心に宿る

七夕流し (黒部市尾山)

毎年八月七日、黒部市尾山では、手作りの姉さま人形や七夕舟を川に流す「七夕流し」が行われる。

地元の小・中学生は、夏休みに入ると祭りの準備に取りかかる。十^{じゅう}二単衣に島田、小首を少しかしげた姉さま人形を、代々伝わる折り方でつくるのは女の子たち。男の子たちは、色紙で飾った木舟(七夕舟)やあんどんなどを流す。

当日、幅一メートル程の川の両岸には、地区の家々から集められた七夕飾りが並び、華やかなトンネルができる。笛や太鼓が鳴り響くなか、午後九時、いよいよ七夕流しが始まると、子供たちが丹精込めてつくった姉さま人形や七夕舟、あんどんが流されていく。人形をのせた板や舟の上、あんどんに灯されたろうそくは、うっすらと水面を照らし、七夕飾りをほのかに浮かびあがらせる。

昔は、娘たちの流している人形を奪おうとする他の地区の若者たちと、尾山の若者たちとの間で攻防が繰り広げられたそう。奪う者はいい嫁を得られると信じ、娘たちは、七夕にちなんで、いい相手にめぐり会えるように丹念に人形をつくったのだという。

ところで、この「七夕流し」の由来は定かではない。ただ、尾山地区で古くから行われてきたこの行事は、地元の人々の幼少時代の思い出に明かりを灯し、見る人の郷愁を誘い続けているのである。



暮らしの

おいしいね〜[🐾] アドバイス



お答えします

—暮らしの中での
ちよつとした疑問—

Q 「砂出し」と表示のあるパック詰のあさりは、薬品等を使用していないか心配です。

A 最近スーパー等では「砂出し」、「砂抜き」と表示したあさりやしじみをよく見かけます。水揚げしたあさを籠に入れて20℃前後の塩水の水槽に漬け、水槽の底から空気を送って水の流れを良くすると、貝は活発に呼吸するようになり、砂や泥を吐き出します。「砂出し」表示の商品は、このように貝が海にいた状態に近くして砂を吐かせているもので、薬品等は使用していません。

Q メロンを食べたら舌がしびれました。大丈夫でしょうか？

A ウリ科の植物には苦味を持つものがありますが、食べてピリピリ感じるメロンを通称「電気メロン」と呼んでいます。これはメロンのヘタの部分に含まれている成分によって苦味を感じるもので、未熟なもの、食べ頃を過ぎたものに多く見られます。これらのものは酸が強く、食べた時にピリピリ感を感じることがありますが、体に害はありません。

Q SPF豚という豚がいると聞きましたが、どのような豚なのでしょうか。

A SPF豚とは、「Specific Pathogen Free豚」の略語で、豚の発育を著しく阻害する特定の病原体を持っていない豚を指します。SPF豚は、おいしい豚肉をつくるために、飼育管理における衛生面での注意に加えて、殺菌処理した飼料を与えるなど、より徹底した衛生管理の下で病気にさせない飼いがされています。SPF豚肉は、安全性、価格、味、やわらかさなど、すべてが消費者のニーズにこたえた豚肉です。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

ヤクルトの田畑投手を取材中の部屋にあの古田捕手が入ってきた。「地元選手はええなあ。待遇が違ってもな」とぼやく古田捕手。「ユニホーム新しくして良かったっす！」田畑投手の口調も変わる。そこにあるのは、俗に言う投手と捕手の「夫婦関係」ではなく、プロの世界には微笑ましい、体育会系の「先輩・後輩関係」だった。(K)

今回の「とやまの祭事記」では、七夕について触れたが、七月七日あるいは八月七日には、いたるところで大小さまざまな行事が繰り広げられた(られる)ことだろう。僕の住む地区でも、それぞれの願いを込めた七夕飾りを浜辺で燃やしたり、色とりどりの電飾をつけた漁船が人々を乗せて回遊したり、岸や漁船から灯籠を流したり…。小さな漁村だが、この日はかりは大勢の人で賑わう。あなたの地区ではどんな様子なんだろう。(A)

宇宙少年団の取材中、分団長の粋な取り計らいにより、電話で理事長とお話することができた。理事長とは、「銀河鉄道999」などで私たちに夢を与えてくれた松本零士氏である。「時間は夢を裏切らない。一生懸命頑張れば、時間がきつと叶えてくれる。夢を思い描いてばかりいた子供時代の感覚を思い起こさせてくれる言葉であった。(A)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成8年9月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 8月号係あて	930 80
氏名	
住所	
電話	
年齢	
本誌を読んだ感想	

日本の音風景 100 選

～富山県から 3 か所が選定～

環境庁では、人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を全国から広く公募し、音環境を保全するうえで特に意義があるとみとめられるもの 100 件を“日本の音風景 100 選”として選定。

富山県からは、称名滝(立山町)、エンナカの水音とおわら風の盆(八尾町)、井波の木彫りの音(井波町)の 3 件が選ばれました。



称名滝

落差日本一(350 m)を誇る名瀑。霊峰立山の水を集めて流れ落ちる音が、称名念仏を唱えているように聞こえることにその名が由来する。



井波の木彫りの音

二百年余りの歴史を持つ井波彫刻。町のあちこちから「トントン」、「コッコツ」という木槌つちやノミを打つ音が聞こえ、それらは見事に町に溶け込んでいる。

エンナカの水音とおわら風の盆

八尾の坂道沿いには“エンナカ”と呼ばれる水路があり、耳を澄ませば心地よい水音が聞こえてくる。

9月1日から3日間、八尾はおわら一色。民謡「越中おわら」が哀調を帯びた胡弓や三味線の調べにあわせて坂の町に流れる。

